

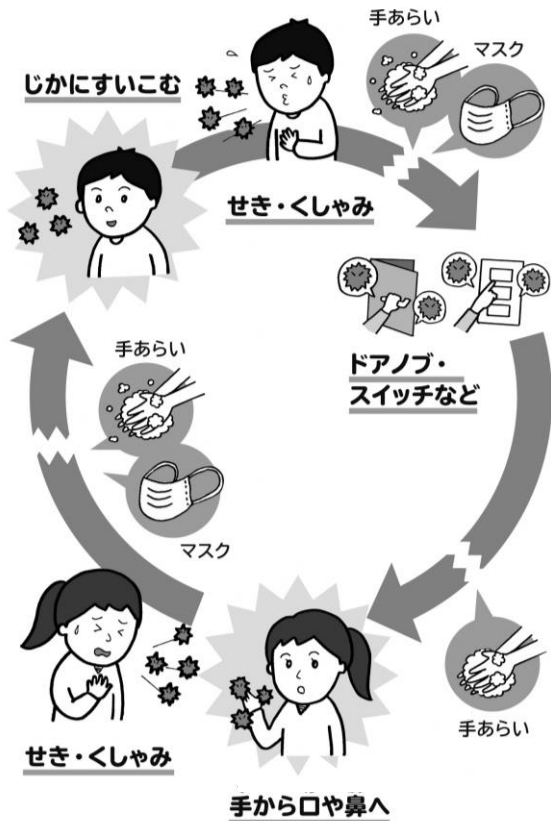
ほけんだより

大社高校保健部

全国的に、かぜやインフルエンザが流行しています。大社高校でも、欠席する人や、熱を測りに保健室へ来室する人が増えています。そこで今回は、かぜやインフルエンザの予防（ウイルス対策）についてご紹介します。

また、冬休み中に部活動等でけがをした人はいませんか？手続きについて再度お知らせをします。

＊手洗い・マスクでインフルエンザを予防しましょう！



かぜ・インフルエンザを予防するには、ウイルスをからだに入れないことが第一です！

ウイルス対策その1：手洗い

皆さんは普段、生活の中でいろいろなところに触ったり、手に持ったりしています。もしも、どこかでウイルスが手についていたとしたら、その手で食べるもの、触るものにどんどん広がってしまいます。石けんを使って、こまめに手あらいをしましょう。

ウイルス対策その2：マスク

かぜ・インフルエンザのウイルスはとても小さく、マスクを通り抜けてしまいます。しかし、マスクをつけていると、ウイルスがついた飛沫（せきやくしゃみが出たときに飛び散る鼻水や唾液）をブロックできます。周りの人のために、マスクをしましょう。

冬休み中に部活動等でけがをしていませんか？

これまでもお知らせしていますが、皆さんは日本スポーツ振興センター災害給付制度に加入しています。

この制度は、学校の管理下（授業、部活動、登下校、寮等）でけがをした場合に、医療費が給付されるという制度です。

冬休みの部活動中・遠征中や、冬季補習中等にけがをして病院に行った人は、給付の対象になります。該当の人は、保健室へ書類を受け取りに来てください。

もちろん、冬休み以外でも対象です。これまでの学校生活を送ってきた中で、**過去2年間のうちに、けがをして病院へ行ったことのある人は、はやめに保健室へきてください。**

※ けがをして病院に行った日から

2年間経過すると、

給付金を支払えなくなります！

注意してください！

